

ほっと にゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。

あなたが知っているおもしろい行事などがあれば、企画広報課広報広聴グループ（☎65-6504）まで事前にお知らせください。

6/8 (水)



早崎内湖ビオトープ観察会

びわ北小学校の4年生が早崎内湖ビオトープで水生生物の観察を行いました。これは総合学習の一環として毎年行っているもので、今年で9年目を迎えます。この観察授業は地元の「早崎内湖ネットワーク」によって支えられ、児童たちは自然環境と早崎内湖の成り立ちをはじめとした地域の歴史についても学びます。当日は皆びしょぬれになりましたが、地引網やたもを使って水生生物の採集と観察に励んでいました。

6/7 (水)



古保利小相撲大会

平成4年に屋根つきの本格的な相撲場が完成して以来、日本の国技である相撲を授業に取り入れてきた古保利小学校。この日は学年別のトーナメント方式で、相撲大会が開催されました。初夏の日差しの中、友達や地域の人たちの声援を受け、小学生力士たちは砂埃を巻き上げながら、優勝目指して一生懸命取り組んでいました。

5/21 (土)



IKA ROCK AID

3月11日に東日本を襲った大震災の復興活動を支援したいと、地元木之本の有志が中心となり、音楽イベント「IKA ROCK AID（イカロックエイド）」が木之本スティックホールで行われました。イベントには、滋賀出身で幅広い舞台で活躍する8組のアーティストが出演し、迫力あるライブパフォーマンスを披露し観客を魅了しました。このイベントの全収益は、被災地への義援金として寄付されます。

6/10 (金)



祝！50万人達成

江・浅井三姉妹博覧会の入場者数が、延べ50万人に達し、長浜県壁・歴史ドラマ50作館で、記念セレモニーが開かれました。50万人目の入場者となったのは、東近江市から友人と訪れた村田紗奈美さんで、「驚きましたが、いい思い出になりました」と喜びのコメントを述べられていました。この日は、彦根市からひこにゃんもお祝いに駆けつけ、村田さんへ黒壁ガラス製のピアグラスなどの記念品が渡されました。

6/9 (木)



孤篷庵フルート演奏会

小堀遠州の菩提寺、近江孤篷庵で、山門と前庭の改修が完了したのを記念し竣工式とフルート演奏会が開かれました。式では、小堀遠州四酔会会長の山口さんが「今後ますます皆さんに親しまれる近江孤篷庵を後世へ引き継いでいきたい」と挨拶。終了後には、地元出身のフルート奏者である梅本伸子さんら4人による記念演奏会も行われ、訪れた人たちは、その美しい音色に聞き入っていました。

5/28 (土)



小谷小城祭り

浅井家ゆかりの湖北・小谷にある小谷小学校で、この学校ならではの伝統行事「第27回城まつり」が開かれました。これは、児童らに郷土の歴史に興味を持ってもらうことを目的に学校とPTAが共同で開催したものです。城祭りでは、浅井家の人物紹介や児童らが力を合わせて作った4基の「城みこし」の紹介などが行われました。

5/21 (土)



杉野地区地域づくり協議会

市内で17番目となる「杉野地区地域づくり協議会」の設立総会が、木之本町杉野のこぶし会館で開かれました。協議会では、今後、3つの専門部会で地域の良い点、悪い点などを洗い出し、地域づくり計画を策定する他、知識を深めるための勉強会や、協議会だよりの発行などが行われます。

6/6 (月)



わらぞうりをありがとう

よご認定子ども園の園児は、土踏まずの形成を促す目的で、上履きの代わりにわら草履を履いています。このわら草履を30年に渡り作っているのは、地元の老人クラブのメンバーで、この日は園を訪れ、わら草履作りを実演が行われました。園児たちは徐々にわらが草履になっていくのを不思議そうに見ながら、自分たちが履いている草履が時間をかけて作られていることに感謝していました。

6/4 (土)



親と子のよい歯コンクール

歯の衛生週間が始まるこの日に開催された「親子のよい歯のコンクール」。参加した24組の親子の中で最優秀賞に輝いたのは小川徹さんと裕也くん。（写真左）よい歯の秘訣は毎日牛乳を飲むこと。そして、朝夕親子で歯磨きをし、磨き残しがないかチェックしてお口の健康を保っているのだそうです。また、特別賞を阿藤和敏さんと遥人くん（写真右）親子が受賞しました。

歴ドラ隊日記 その4

博覧会を盛り上げPRするため結成された長浜歴ドラ隊。このコーナーは博覧会のことなら何でもこの彼女たちによる日記です。思わぬ裏話がきけるかも……。

江様の産まれた小谷山は今、大河ドラマの影響もあり、既に一万人以上の方が山登りを楽しんでくださって、誠に嬉しゅうございます。しかしながら例年に行っていない登山者に対し、今まで通りの掃除を行って、五月の連休を前に大掃除を行ったのでございます。

小谷城が日の本一の山城と謳われるのは、単に堅牢な城というだけではありません。当時の遺構をほぼそのままに残し、実際に登ること、直に触れ、感じ、当時を想うことの出来る場所。戦国時代を駆け抜けていった人々の意志を受け継ぎ、子々孫々と語り継ぐ民がいるということ。小石一粒、木葉一枚も文化財の精神で守り続けてきたからこそ、その日の本一にふさわしい場所だからこそ、ごみ捨て場にならないで欲しい。

歴史に興味がある人も無い人も、せっかくなかみ場所がごみ溜めであつたら嫌にごさいますよう。次に訪れた人がまた、美しい景色、豊かな自然に出会えることを願って……。



長浜歴ドラ隊 池より